

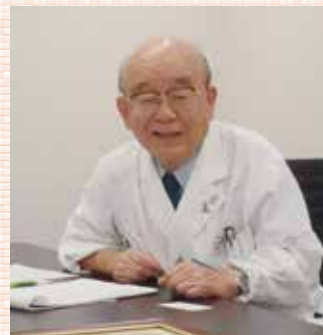


新年度を迎えて

医療法人協愛会 阿知須共立病院

理事長・病院長 三好 正規

平素より病院の運営に格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。「春爛漫の候となり・・・」と言いたいところですが、地球温暖化による異常気象のためでしょうか、今年の冬は雪も降らず季節感のないまま陽春を迎えるはずでありました。しかし、運の悪いことに、新型コロナウイルス感染症が世界各国・地域に猛威を振るい、感染症の怖さを見せつけられ、ついにWHOが、今まで殆ど前例のない世界各国が「パンデミック」な状態と位置づけました、当病院でも水際作戦・感染予防作戦を展開し、地域の皆様、患者様・ご家族の方々に多大なご不便・ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。残念ながら、未だこの状態がいつ収束するのか全く予測できない状態です。



皆様が楽しみにされていたプロ野球、サッカーJリーグ、大相撲、センバツ高校野球、ゴルフトーナメント等のスポーツイベント・各種学会の中止・娯楽施設の閉鎖などには、人の心も押しつぶされそうです。更に、国家イベントの東京オリンピック・パラリンピックの開催延期もスポーツ界ばかりでなく、経済界、ひいては国力の低下まで、波紋を広げそうです。感染の拡大を防ぐためにも、“密閉（閉鎖空間）・密集（多数の集団）・密接（間近で会話・おしゃべり）”に注意して活動することが大切です。

当病院は、どのような困難に直面しようとも、“One Team”で協愛会2020プラン達成にチャレンジし、職員の英知と団結力により、難局を克服する覚悟でございます。状況が好転するのをじっと待ちましょう。

今春も、希望に燃えた多くの新人が、私どもの仲間に入って、医療・福祉の道を進むことになりました。患者様・利用者の皆様に寄り添いながら、成長してくれることを心より祈っていますし、各部署長も目標に到達すべく育成に努力しております。これからも高い意識をもって、毎日の業務に邁進する所存です。

最後になりましたが、皆様方より変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



【お知らせ】内科の木曜日午後も新しく診療開始！

■医療法人協愛会理念

1. “地域の安心支援拠点” 安心と信頼を提供します
2. “皆さまの健康長寿” その人らしい生活を支えます
3. “四者満足” 希望と満足を実感できる法人でありつづけます

■基本方針

1. “思い” を大切にした医療・予防・ケアに取り組みます
2. 安全・納得の技術を提供します
3. 切れ目のない地域連携で皆さまを支えます
4. 24時間、365日、まごころサービスで皆さまを支えます
5. 安心と信頼を提供できる人材を育成します

栄養サポートチーム NSTの活動について

内科部長 鈴木 千衣子

日本は10年後には後期高齢者が2000万人を超える超高齢社会を迎えます。人の手を借りずに健康に過ごすことができる「健康寿命」は「平均寿命」と比べ、男性で約9年、女性で約13年短いとされています。後期高齢者が要介護になる原因の一位は老衰で、これを避けるために新しい医療の取り組みが進んでいます。

その一つに、適切かつ十分量の食事と定期的な運動で筋肉量の低下を予防する考え方が普及してきています。当院では入院患者さんが、入院によって体力の低下をきたすことがないように入院中の栄養サポートを病棟全体で取り組んでおり、その主体となるのが栄養サポートチーム（NST）です。

以前、多くの病院で「肺炎だから」「手術前後だから」などの理由で、必要のない人にまで「安静や禁食」が行われることがありました。「入院すると歩けなくなる」や「手術をして病気は治ったが、足が立たなくなり自宅退院が出来なくなった」という声もよく耳にしていました。

そこで、入院中の体力の低下を予防するため、食事摂取が少ない方、体重が減っている方、飲み込みが不十分で食事が難しい方などを対象に、毎週1回病院内のNSTメンバーが集い、意見交換を行い栄養学的な治療方針を練っていきます。さらに、栄養治療の知識や病気の状態に応じた管理方法など、知識を深めるためのNST勉強会も週に1回行っています。

また、ご自身で食事を食べることが難しくなった状況となっても、口腔内を清潔に保つことが肺炎予防のカギであるとの認識から、リハビリスタッフや院外の歯科と連携し、「最後まで口から食べる」ことの支援行っています。



また、「食事の時に咳が出る」や「喉に引っかかった感じがある」などは、飲み込みの力が弱くなってきたサインです。ご自宅で食事の際にできる工夫を表に上げています。食べにくいものを無理に食べると、食事時間が長くなることで疲れてしまい、十分な量が食べられなくなってしまいます。簡単に飲み込みができるような調理を行い、必要な量が不足しないようにすることが健康な身体を保つために大切です。

飲み込みにくいもの	飲み込みやすくする工夫
さらさらとした液体	トロミをつける、ストローなどで少量ずつ飲む
固いもの	加熱しても柔らかくならないものは取り除く
食物繊維の多いもの	調理によって繊維を切断し、まとまりやすいようにする
ひっつきやすいもの	餅、海苔、わかめなど。飲み込みにくいようであれば取り除く
パサパサしているもの	マヨネーズや油、水分を加えてまとめる
すすらないと食べられないもの	麺類は適当な長さに切り、お茶漬けもスプーンなどで食べる
酸味の強いもの	加熱により酸を飛ばしたり、量を加減したり、薄めたりする
のどに詰まりやすい大きさのもの	調理過程で切り方を工夫し、工夫しても難しい場合は取り除く

高齢者の摂食嚥下サポート 若林秀隆編著 より一部改変

「患者さんの権利を尊重すること、高齢者の皆さんをお守りすること」の憲章

■患者さんの権利を守ります■

1. 患者さんは、人間として尊重される権利を持っています。
2. 患者さんは、いつでも必要かつ十分な医療を受ける権利を持っています。
3. 患者さんは、プライバシーが尊重される権利を持っています。
4. 患者さんは、自分の選択によって治療を受ける権利と共に治療を拒否する権利を持っています。
5. 患者さんは、医師や医療従事者に十分な説明を受ける権利を持っています。
6. 患者さんは、平等な治療を受ける権利を持っています。

■「高齢者」の皆さんに対して■

◎尊厳を持って自立した生活が送れるよう支援します。◎健康で生きがいをもって、社会参加ができるよう手を差し伸べます。◎利用者の皆さんから、信頼され満足されるサービス提供に努めます。◎処遇の質的改善、権利擁護体制の充実に努めます。◎看護、介護を通して在宅への可能性を支援します。◎リハビリテーションを充実し、介護予防、社会参加の推進に努めます。◎フォアザペイシエントの姿勢を貫きます。

新人さんいらっしゃい ～新型コロナウイルスを正しく怖れる～

令和2年4月1日、世界中が新型コロナウイルスに怯える中、入社式が三好正規理事長・病院長のものと執り行われました。

この4月に入社された職員22名に、昨年11月から今年3月までに入社された9名を加え、総勢31名が入社式に臨みました。職種も医師をはじめ、看護師、介護福祉士、リハビリ療法士、臨床検査技師、事務職員など、実にさまざまです。

辞令交付の後、参加者全員で記念撮影。それがこの写真です。（マスク着用での写真撮影は初めてですね）



本来はまる2日間のプログラムですが、今回は1日に短縮。直前まで実施か、延期か、中止か、さんざん悩みましたが、このような時だからこそ、また医療介護に携わるからこそ、検温、消毒、マスク着用、十分な換気、講義内容の変更など、3つの密を防ぐよう最大限に気を使いながら、実施に踏み切りました。恒例の理事長訓話では、理事長と新入職員との意見交換があり、新入職員は「内容が堅くなく、雑学もあって楽しかったです。」「緊張が解け、がんばれるイメージが沸きました。」と、大いに刺激を受けた様子でした。



理事長によるユーモアを交えた訓話。若きスタッフにエールを送ります。



講師も参加者も、みんなマスク着用でした。感染防止のプログラムは、特に力を入れて講義しました！

「窓を開けっぱなしで寒かったけど、いろいろ学べて楽しかった。」との声を多く聞き、担当者としては一安心。最後は配属先の上司が迎えに来て、簡単なオリエンテーションがありました。不安が安心に変わった表情を見て、「不安だらけだったけど、実施して良かった！」の思いが強まりました。

これからも一緒に協愛会を盛り立てていきましょう！

以上

『令和元年度看護介護研究発表会』を開催！！

当院で毎年行われている院内看護介護研究発表会が2月6日（木）に開催されました。今年で13回目となった研究発表会、看護介護に携わる職員が日頃疑問に感じていること等をテーマとして掲げて検証に取り組み、その成果を発表しました。

●今回の演題は以下の通りでした。

1. 手指消毒に対する意識向上に向けた取り組み （4階地域包括ケア病棟）
2. 年間公休10日間増加が仕事への影響を及ぼしたか （3階医療療養病棟）
3. 内科外来患者の体重測定に対する思い （外来看護）
4. 認知症利用者のBPSDの軽減を図る （老人保健施設ニューライフあじす）
5. せん妄・ADLの低下予防のための早期離床の効果 （5階一般病棟）



高齢化社会、アウトブレイク、生活習慣病予防、働き方改革と現代社会には様々な医療的課題があります。今回の研究発表会には、このような時代に即したテーマに取り組みされた内容が多く取り上げられました。発表会を終えて、参加者より「認知症患者との関わりを考え直す機会となった」「働き方改革の一貫として、休暇を考えるとことは重要」「手指消毒への意識向上につながった」「健康指標である体重測定の大切さを伝えたい」等の意見も出され、職員に良い刺激となっていました。今後もよりよい職場作りのため、皆さまによりよいケアを提供していけるよう研究発表会を続けてまいります。

外来診療のご案内

阿知須共立病院

Tel 0836-65-2200 Fax 0836-65-4436

2020年4月23日

		月	火	水	木	金	土	専門分野	
内科	午前	山岡孝之	三好正規	三好正規	武山純一郎	三好正規	鈴木千衣子 (第1・4)	三好正規 鈴木 三好正敬	内科一般・内分泌内科 呼吸器内科・福祉相談 産業医学相談 内科一般・消化器内科 内視鏡内科・肝臓内科 内科一般・循環器内科 腎臓内科 内科一般・腎臓内科 内科一般・腎臓内科 内科一般・糖尿病内科 内科一般 内科一般・肝臓内科 消化器内科 内科一般・循環器内科 内科一般・循環器内科 内科一般・糖尿病内科 内科一般・呼吸器内科 内科一般・肝臓内科 消化器内科 内科一般 禁煙外来
		松原弘子	松原弘子	中田祐樹	山岡孝之	畠中諒子	三好正敬 (第2・4)		
		中島豪希	三好正敬	鈴木千衣子	鈴木千衣子	三好正敬	松原弘子 (第1・3)		
				沖田 極			佐島秀一 (第2・3)		
	午後			三好正敬 (無呼吸)		武山純一郎	武山純一郎	呼吸器 高橋 松原 武山 沖田 中島 中田 畠中 呼吸器 白井 佐島 藤井	
		松原弘子	白井睦訓	中田祐樹			畠中諒子		
		中島豪希		山岡孝之					
			高橋達世		藤井郁英 (禁煙)				
脳神経外科	午前	石光 宏	石光 宏	石光 宏		石光 宏	石光 宏 (第1・3)	石光	脳神経外科一般・もの忘れ外来・認知症外来
	午後	石光 宏 (脳ドック)	石光 宏 (認知症外来)	石光 宏 (脳ドック)		石光 宏 (脳ドック)			
外科	午前	工藤明敏	原田俊夫	太田啓介 (手術)	工藤明敏	工藤明敏	工藤明敏 (第1・3) 原田俊夫 (第2・4)	工藤 原田 太田	外科一般・消化器外科 乳腺外科・血管外科 呼吸器外科・甲状腺外科 外科一般・消化器外科 外科一般
	午後	乳腺外来	(手術)	(手術)	(手術)	ストーマ外来 (第1・3)			
整形外科	午前	三好智之	三好智之	三好智之	三好智之	三好智之	松木佑太 三好智之 または 村松慶一	三好智之 村松 松木	整形一般 整形一般・手の外科 骨軟部腫瘍 整形一般
	午後					(手術)			

* 診察時間 月曜～金曜日 9:00～17:30 (12:30～14:00を除く)

土曜日 9:00～12:30 (午後休診) ※第5土曜日休診 (該当: 2020年5・8・10月、2021年1月)

* 上記時間外・深夜・休日は、当直医がおりますので、急患は受付させていただきます。

私たちは院内の最新情報、旬な情報を地域の皆様にいち早く、分かり易くお伝えする為に、病院だよりの発行やホームページの編集も行っています。知りたい情報がすぐに見つかる、見易いホームページとなっています。

阿知須共立病院

〒754-1277 山口市阿知須4841番地 1

Tel 0836-65-2200

<http://www.kyoai.or.jp>

地域連携室 ☎ 0836-65-2190

